

新型コロナウイルス感染症対策

●最近、第6波のピークは過ぎたと言われていますが、感染者数は高止まりし、それに伴い重傷者や死亡者も増えています。

●また、医療提供体制はひっ迫しています。

(1) 医療提供体制

ア. 発熱患者等の相談や診療、検査の現状と県や市の対応策

●市のホームページでは、発熱等の症状があり、感染の疑いがある場合の相談や診療、検査について、従来通りの流れが紹介されています。

●しかし、第5波を大幅に超える感染者が発生している状況で、従来の相談や診療、検査体制が十分機能しているのでしょうか？

◎相談や診療、検査体制の現状をお聞かせください。

◎また、現状を踏まえた県や市の対応策をお聞かせください。

イ. 自宅療養者への医療面でのフォロー

●我孫子市では2月17日時点で1,188人が自宅療養を強いられています。

●癌やいくつかの基礎疾患を持った高齢者が、不調を訴え救急車で病院に運ばれ検査したところ陽性が判明したが、自宅療養となったという話を聞きました。

●最近、軽症と診断され自宅療養をしている患者が、基礎疾患の悪化などで死亡するケースが増えています。

◎自宅療養者に対する医療面でのフォローは、どのようになされているのか、お聞かせください。

ウ. オンライン診療とオンライン服薬指導

●新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、一部の医療機関や薬局では、オンライン診療等を導入し始めています。

●市のホームページには、市内でオンライン診療に対応している医療機関は19カ所、オンライン服薬指導に対応している薬局は7カ所記載されています。

◎これらの医療機関は、新型コロナウイルス感染症の疑いのある方の診療や夜間対応もしているのでしょうか。

◎また、市内にオンライン診療や服薬指導を行っている医療機関や薬局があることを、ホームページだけでなく広報やSNSを活用し、市民に広く周知していただきたいと思いますが、いかがでしょうか？

※ホームページ：「発熱等症状がある方の相談先」のページの「発熱患者等の相談・診療・検査の流れ」の箇所

(2) 自宅療養者への支援

●政府が医療のひっ迫を理由に自宅療養を広く認める方針に転換したため自宅療養者が急増しています。

●そんななか、自宅療養者への支援は大きな課題です。

ア. 自宅療養者支援物資提供業務について

●自宅療養で一家全員が感染した場合、或いは、家族が濃厚接触者となった場合は、外部との接触は禁止され買物もできません。食料など生活必需品の支援は不可欠です。

●我孫子市では、千葉県で実施する配食サービスが届くまでの間、食料等が必要な自宅療養者に、緊急用として食料などを支援する市独自の事業を行っています。

◎当初、この自宅療養者支援物資提供業務の利用者はいませんでした。最近の利用状況をお聞かせください。

◎また、支援物資は飲料水と食料品に限定されていますが、赤ちゃんのいる家庭では、ミルクやおむつは必需品です。

万一、自宅療養期間にミルクやおむつが無くなってしまった場合は、それらを提供できるよう見直していただきたいと思いますが、いかがですか？

イ. 介護が必要な高齢者や障害者、子どものいる家族への市の支援体制

●2月6日付東京新聞に、政府の基本的対処方針には自宅療養の場合、介護が必要なお年寄りや障害者、子どもがいる家族には自治体が必要な支援を行うと明記されているが、患者の増加で困難になり、十分に機能していないのが現状という旨の記事が掲載されました。

◎我孫子市の支援体制をお聞かせください。

◎また、自宅療養者が急増しているなかで、支援体制は十分に機能しているのか、支援の現状をお聞かせください。